

2011年度

科目名	東洋史概説A				
担当教員	小田木 治太郎				
配当	文財2		コード	41022	
開期	前期	講時	木曜日1限	単位数	2
授業テーマ	中国先史～古代史概説				
目的と概要	中国は、世界四大文明の一つである中国文明の成立にはじまり、常に高度な文化を保ち続け、東アジア地域全体に強い影響力をもってきました。日本の歴史も中国の存在をぬきにしては語れません。本授業では、環境論や資料論などの基礎的な問題をまず検討し、その上で中央集権国家が完成する前漢までの歴史をたどります。特に、近年増加がめざましい考古学資料を積極的に取り入れて、対象とする各時代の立体的把握を目指します。折に触れ、関連画像を見る時間を設けます。				
成績評価法	学期末試験80％、平常点20％				
テキスト	特になし。適宜、プリントを配布する。				
参考書	特になし				
履修に当たっての注意・助言/準備学習	しっかりとノートをとること。板書を写すだけでなく、授業全体の内容が理解できるようなノートにするようにして下さい。授業には、前回までの内容をよく理解しなおした上で臨んで下さい。				
講義計画					
1. 導入 中国の地理的環境と風土 2. 資料論 中国史の材料 3. 先史 旧石器時代-新石器時代 4. 殷 初期王朝の成立 5. 殷 初期王朝の特質 6. 西周 封建制の成立とその変質 7. 春秋 覇者の時代 8. 春秋 戦国への胎動 9. 戦国 群雄割拠、生き残りをかけた政治改革 10. 戦国 思想の黄金時代 11. 戦国 経済と文化のめざましい発展 12. 秦 最初の全国統一 13. 秦-漢 秦の崩壊と楚漢の争い 14. 前漢 中央集権国家の確立 15. まとめ					